

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	条里南庁舎 講堂
日 時	令和8年6月22日（月） 18：30～20：00
参加者数	38名

No.	項目	内容	市長の発言
1	猟友会	①なぜ、猟友会の去年の活動費が年度を超して支払われるのか。 ②去年、緊急銃猟の訓練に仕事を休んで参加した。訓練参加に対する手当はないのか市の農林整備課長に聞いたが、市では出せないと言われた。しかし、当日いた国の役人に聞いたところ国の補助金を使って下さいと言われた。市では国の補助金が入っているはずだが、我々にはなんの手当もない。その補助金を職員の給与に充てているのか。 ③合併前の旧横手市内は猟友会に対して、45万円の補助金をもらっていたが、合併後高橋市長になってからは、十文字や他地域と同額の9万円に下げられた。十文字と横手では害獣駆除数も全然違う。なぜ一律にしたのか。 ④自分は銃猟指導員を担っており、猟友会の会員が増えると自分の手間も増えるが年間で5,000円の手間賃だけである。また、横手、平鹿地域で射撃場が一つもないので、吉乃鉾山に射撃場を作ってほしい。 ⑤横手平鹿連合猟友会の事務局を市で人を雇って、運営して欲しい。	①そのような状況を承知していなかったことは反省させていただきたい。猟友会あつての熊対策、鳥獣害獣対策なので、活動を蔑ろにする気持ちは微塵もなく、猟友会の皆様には本当に感謝している。 ②その点についても改善させていただきたいと思う。 ③これは猟友会のみならず、すべての分野において、全地域で公平に予算を割り当てないといけない。合併後はすべての分野において、整えさせていただいたので、上がったところもあれば下がったところもあるが、一つの市として、平準化したと思う。ただ、現在、熊被害がかつてとは違うステージになっているので、多少は合併直後より改善する努力はしてきたつもりである。引き続き現場の声を届けていただき、それを受け止めて改善に努めてまいりたい。 ④吉乃鉾山を射撃場にする発想は私にもある。適地とは思いますが、法的な部分や実際にできるのかといった部分の精査が当然必要になり、すぐにできるものではない。ただ、どこかに訓練する場が必要ということも理解しているので、引き続き宿題にさせていただきたい。 ⑤ご意見は宿題にさせていただく。
2	議会対応	議会を見ていて市の不祥事があった際に市長だけが頭を下げて、担当副市長、部長が誰も立たないのはいかがなものか。	不祥事の部分については、私が総責任者なので、然るべきところで頭を下げることで場が締まると思うし、似たような事案を全国の自治体で発生させないように恥を晒して社会貢献をするつもりで、率先して謝ろうとしている。ただし、それが緩みに繋がっては意味がないので、いただいたご意見も受け止めながら今後も行政の締め方を考えていきたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	条里南庁舎 講堂
日 時	令和8年6月22日（月） 18：30～20：00
参加者数	38名

No.	項目	内容	市長の発言
3	横手城	横手城について、桜まつりの際に灯籠を飾るが、あれではない写真が撮れず写真家が怒って帰る。いい写真がないから横手の観光がPRされにくいと思う。また、かまぐら時期にも夜の横手城の写真は、人がいっぱいいるのでいい写真が撮れない。撮影時間を決めて撮ることもできるがなぜやらないのか。	観光についても、市民みんなが当事者意識を持てばまた違った見え方もあると思う。今指摘を受けて気付くこともあるくらい普段暮らしていると何も思わない部分もあるので、そういったご提言はありがたく受け止めさせていただく。せっかく来ていただいたお客様が憤慨して帰るようでは、逆効果なので、来る前よりも帰った後にプラスの要素を抱いて地元に戻っていただけるよう、お客様の視線をみんなで考えながら、横手の景色を見つめたいと思うし、これをかわきりに横手の想いを注ぐ努力をしていきたいと思う。 それでも気付かない部分が多いと思うので、引き続きご指導をいただき、我々も改良、改善に努めてまいりたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	浅舞地区交流センター
日 時	令和8年6月23日（火） 18：30～20：15
参加者数	34名

No.	項目	内容	市長の発言
1	IRISOアリーナ横手	せっかく建てたので、新しいスポーツ大会を誘致したり、市民の方に使っていただいたり、県内外の方に来ていただけたら、消費等に繋がると考える。 また、市ではスポーツに関する企画室や部署等の設置はされているのか。	市ではスポーツ振興課があり、また、観光、企画など部局横断で盛り上げが可能な催しを誘致する努力はしていくべきと思う。 今年度については、土日はほぼすべてがプロのスポーツ、大相撲等の催しで埋まっている状況である。
2	農業	横手市は基幹産業として農業がありますが、昨年の渇水の際には、国、県よりも横手市がいち早く対応してくださり本当にありがたかった。ただ今年も雪解けが早かったようで、水が足りない状況なので、今の状況を見ながら災害対策に踏み切っていただければ大変ありがたい。	農業についても、まさに水あってのものである。 先程講演の中で紹介した成瀬ダムについても、本来は完成しているが、ずれてこの時期になってしまっているの、そこは国土交通省に念押しをお願いしてまい。何とか水の確保という部分は、引き続き努力してまいりたい。
3	市民会館	予算の絡みもあると思うが、私はぜひ欲しいと思っている。 いろいろ問題があると思うが、ぜひ頑張っていただきたい。	市民会館については、文化を拠り所に使う施設が存在すると、芸事を披露する団体があります。披露するための練習、指導、コミュニケーションを各団体がとることもまちづくりになり、また、多くのお客様を呼ぶために各団体が各所へ呼びかけることもまちづくりになり、舞台の上で披露できる演目の数だけ町ができると思っている。演目の素晴らしさに感動するのも大事だが、披露するに至らしめるまで長い時間を積み上げていく活動そのものが町を活気づけると思うので、このような文化の拠り所はなくしてはいけないと思う。 これは何が何でも実現させたいと思う。
4	耕作放棄地	田んぼにもならない農地があり処分したいが、処分もできない状況にある。収益にならない土地を持って、固定資産税を毎年払っているのは辛いので、何とか対策を考えていただければありがたい。	農地については、農地中間管理機構ということで、農協さんと協力しながら農地の橋渡しを長らく行っている。この機能をもって耕作放棄になるはずだった農地が別の農家さんの手で耕作されている場所もかなりある。市としては課題に目を背けず、実施はしているということで紹介させていただく。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	浅舞地区交流センター
日 時	令和8年6月23日（火） 18：30～20：15
参加者数	34名

No.	項目	内容	市長の発言
5	外国の方についての対応	国の方では税を払って真面目に働いている外国人でも条件を満たさないとだめというふうに排除するような動きが見えて悲しく思っている。 人の失敗を平気で笑ったり、外国人を見ると指さしたり、振り返ったり、これは人として恥ずかしいことだと、相手を尊敬する人を育てられるように教育の面で教えていただきたい。	外国人に限らず日本人でも素晴らしい人、そうでない人はいて、国によってだめということはないと思う。 秋田県は外国人が少ない県の一つであり、偏見や差別というのは最近の学校教育ではそういうのは気を付けましょうと徹底して指導しているはず。この横手、秋田で起きてしまっているというのは情けないことだと思うし、その考えは同感する。
6	公共施設の収益性	市民会館はやはりあった方がいいと思う。 せっかく作った建物で収益性が上がらないのはうまくないと思うので、横手の財務状況がよくなるように、企画、指導してくださる専門的な知識を持った人を任期を決めて招いて、横手市がますますよくなるようにしてもらえればいい。	収益性について、体育館については今年度は土日のほぼすべてが埋まっている状況である。当市は冬場の宿泊が弱い部分ですので、せっかくの屋内大規模施設なので、冬場であっても大会を誘致して冬の宿泊という部分も意識したい。 興行主との調整にはなるが、専門的なプロの方々は見ればどんなことができるか分かると思うので、そこはしっかり紹介して呼び込みたいと思う。
7	横手市の強み	北上でキオクシアの工場を見てきて、横手の工業団地、また秋田県内にはないものだと感じた。 横手は、仙台・東京から一番最初のインターチェンジであり、その強みをぜひ活かしていただきたい。	奥羽山脈を隔てて車で1時間の向こう側にはキオクシアをはじめ、これまでとは勢いが違ってきている。誘致企業がくれば地元企業も一流企業並みの待遇に答えられるように企業全体が底上げされるという現象は横手市でも出つつある。こういった、いいサイクルを生む意味でも強い刺激は多少は必要だと思っている。 横手市では柳田工業団地を造成したが、横手市の身の丈で呼べる範囲の中で、企業誘致を実施し、既存の企業にもさらに成長いただくように応援するというような努力は惜しまないつもりである。北上平野の工場で稼いだ従業員に横手でもお金の使い道があるということをしっかりお知らせして、引き寄せて経済の循環に繋げていくということは考えている。そうなるように努力したいと思う。
8	Ao-na	Ao-naの開館時間は1階が夜10時まで、図書館が夜9時までで、似たような県外の施設だと土日は閉館時間が早まったりする。 県外では3時間までと制限を設けていたりするので、施設の維持の部分で、開館時間を早めたり、予約制にしたりして、施設維持管理費用を減らすことも必要と思う。	Ao-naについては、そのようなご意見もあるということ参考にする。 開館時間のありようについては、利用者の様々な意見があると思うので、ご意見も参考にしつつ、現場の意見も聞いてみたいと思う。

令和８年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター
日 時	令和8年6月29日（月） 18：30～20：40
参加者数	36名

No.	項目	内容	市長の発言
1	シン十文字拠点構想	こういうビジネスを十文字でやっていきたいという色が薄いと感じ、特に副拠点エリアとされるＪＲ十文字駅から13号線、インターチェンジまで、どういう人、物、金の流れていくのを作ろうというお考えなのか。また、拠点整備でどれだけ経済効果を発揮できたらいいというふうにお考えか。最近では地元の素材を生かしたアルコール製品を開発している事業者が増えており、そういった中で、十文字に「泊まる」という要素を一つ足すことで、お金を落としていく人が増えると考えてる。	やはり飲む目的の人をターゲットにすれば泊まってくれるし、お金も落としてくれるということで、そこが十文字の魅力でもあると思っている。 ビジネスマーケティング的には、まず店舗を借りるでも、露店を出すでも、自分が開発したサービスが通用するのかわかも、試すことができる場所、とっかかりを十文字でまず始めてみるというチャレンジの場になればいいなと思っている。 こういった場所があれば、人が集まり、面白いことが起きてくると思うし、かつての十文字はそうであったはずなので、様々挑戦できる空間は作ればいいと考えている。
2	ファミリーサポートセンター	先日サポーターとして登録手続きをしたが、大人の性犯罪の加害リスクを予防する仕組みがなかったと感じた。資格書のコピーを取るなど、運用面で防ぐ取り組みなど、横手市独自で行う考えがあれば話して欲しい。	ご心配の要素についても今気付かされたので、簡素な手続きのメリットもあるが、心配を担保するリスクの防御線もどういった方法があるか、しっかり検討し、今よりいい形に整えたいと思う。
3	防災拠点	防災拠点化、ＡＥＤ設置など、宗教法人との協定締結についての考えを伺いたい。	できる、できないを含め、研究はさせていただく。 ＡＥＤ設置についても予算が執行されるので、予算が認められるかという現実もあるが、ご提案として受け止めさせていただく。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター
日 時	令和8年6月29日（月） 18：30～20：40
参加者数	36名

No.	項目	内容	市長の発言
4	シン十文字拠点構想	広大なエリアが再開発の対象になっているが、多くの建築資材や除却した建物から資源、資材の置き場が増えるという見通しを市では持っているのか。 （再質問） 大規模な再開発をすると社会問題になる事例が散見されるが、対策として、再開発エリアを対象に住民アンケートを取るとか、万が一トラブルが起きた際に対応する相談窓口を市に作ってもらうことはできないか。 （再質問） 都市機能誘導区域を載せた意図はなにか。	建設資材の置き場が増えていくというような話は聞いていない。 まず再開発のエリアは今の公共用地であり、住宅や店舗があるエリアまで開発が進捗していくことは現実的に厳しい。都市計画上の居住誘導区域は計画上広いが、シン十文字拠点構想については、市が今保有している公共用地である。 都市計画のエリアとして、都市機能誘導区域というエリアは存在させている。都市機能誘導区域内っていう線を引いてることで、そこをすべて再開発すると捉えてしまったのであれば、我々の示し方が丁寧ではなかった。
5	十文字卓球場	今年のまちづくり推進部の方針書の重点項目に、解体工事を着実に着手して土地の利活用を図るとあるが、この予算はついたのか。また、跡地の利活用について、アイデアや状況をお聞かせいただきたい。 跡地の利活用を進めているとすれば、付近の自治会や住民組織に事前に利用方針等を情報共有する意向があるか。	解体の予算はついてるので、安全に解体を進めてまいりたい。 利活用について、具体的な方針は定めていないが、市なりのアクションが発生する場合は、当然周辺の方々にはお知らせをしたり、ご迷惑や我慢をする場面が発生するようであれば、当然住民の皆様と相談しながら進める。
6	シン十文字拠点構想	拠点構想で民間委託（PFIやDBO）で民間の知恵を借りて計画を作ろうとしてるようだが、個人の意見として、最初から建設部や都市計画課で考え、自力でできるサイズのものでないとするれば、初めから着手するのは難しいという印象を受けた。市でも過去にPFI等で委託してきた経緯はあると思うが、成果があがったのかどうなのか、そういった事業の検証を行う考えはあるのか。	よこてクリーンプラザはDBO方式で実施し、問題なく会計検査も通っている。今も良好に稼働し、安全に運転されている。このように横手の例から言えば問題は発生していない。 民間がいいのか、公営がいいのか、直営がいいのか、千差万別なので、横手市の中で様々な条件を考えて、ベストな方法を選んでいく。選択のふり幅は多様に設けているので、何とか最終的によかったと思える事業になるよう努力してまいりたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター
日 時	令和8年6月29日（月） 18：30～20：40
参加者数	36名

No.	項目	内容	市長の発言
7	十文字駅	宅地もどんどんできており、これから十文字駅を一つの賑わいのラインに入れるということであれば、どう発展させるかというビジョンを示していただかないと無尽蔵に住宅が増えていくことにもなりかねないかなと思った。 また、駅前の道路もアスファルトがボロボロになり、車が通りにくい駅前になっていると思うが、市長はこれからの十文字駅をどうしていくのか、お考えをお聞かせいただきたい。 （再質問） 都市計画や構想にもあったが、十文字駅から道の駅までコミュニティバスを走らせたり、駅前にコンビニを入れたりするだけで利便性はだいぶ変わらと思う。駅前の利便性を今のハードの条件の中でどう整えていくのかもご検討いただきたい。	十文字の道の駅が誕生した時も、この道の駅と十文字駅の動線をどう結びつけていくかという話題は考えている。道の駅に来た方がもっと十文字の中の方に引き寄せられればということで、だからこそその拠点構想でもある。 駅前のことを考えていないということではなく、かつて何度も市民の皆様を集めた会議が開かれたが、頓挫してきた過去もある。 やはり中心市街地を空洞化させるわけにはいかないので、十文字の商店の方々の奮闘をしっかりと紹介、応援しながら、時には取り組みに対してささやかな支援もしている。何とかそういう形で、新しい取り組みも頑張る事業者を応援していきたいと思う。 学校統合で増田高校に集約されるが、送り迎えや電車での行き来も含め、学生などの終業後を過ごす空間としても駅前は大変だと思うので、意識し続けたいと思う。また、増田の観光の絡みもあったりするので、必ずしも十文字側の目線のみならず、東側のエリアに赴く方々の動線も意識しないといけない。また店についても、とにかく人の往来がないと店舗の進出はありえないので、何とかシン十文字拠点構想が駅前周辺まで及ぶように成功させて、人を呼び寄せ、町の魅力を引き寄せる算段をしていかないといけないなと改めて考えさせられた。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター
日 時	令和8年6月29日（月） 18：30～20：40
参加者数	36名

No.	項目	内容	市長の発言
8	デジタル田園都市構想	市長の選挙公約にデジタル田園都市構想とあるが、これは具体的にどのような部分を差すかお聞かせ願う。 （再質問） デジタル田園都市の中にデータセンターも含まれるか。 将来的に市内にデータセンターを誘致する見通しはあるか。 データセンターの建設場所について、十文字周辺に作る構想や素案は現時点であるか。 （再質問） データセンターは全国的に迷惑施設として問題になっているようだが、将来的にこのような問題が、このエリアでもあるかもしれないと考えたと不安に思う。そのような施設を誘致する際は、周辺自治会に覚書を交わしたり、説明をしたりなどの取り組みをしていただきたい。	最近のDXやデジタル、通信インフラなどを駆使しながら、我々の暮らし、産業に結び付けていくということで、先程紹介した「書かない窓口」もその一つである。農業でも無人化により、無人のトラクターが田んぼを耕すなど、デジタルの力を使った省略化することに取り組んでいる。また、民間の取り組みだが、デジタルの力を駆使した訪問医療「医療MaaS」などもデジタル田園都市の例の一つである。このようにデジタルの力を貪欲に取り入れている状況なので、文明の利器は活用するということで進めている。 かなりの熱を発するデータセンターは寒冷な涼しい場所にあった方がよいと思うし、特に秋田県は再生可能エネルギー自給率が100%を超えるクリーンなエネルギーを出せる地域なのでこういった地域にあるべきなのかなと思う。 また、来ていただけるのであれば、検討の一つにはなと思う。 十文字に作る構想はないが、データセンターは人が集う場所になくても、電力と通信回線さえ存在すれば、能力を発揮できる。そのため、十文字の交流拠点の空き地に建てるという発想はなかったので、新しい発想をいただいたと思う。 そもそも進出してくれる先がないので何とも言えない。 データセンターがなぜだめなのかも、ぜひ教えていただきたい。
9	再開発	地形測量の範囲が16万平米ということで、かなり広いので不安に感じている。建物の除却や立ち退きは想定していないとのことだが、事業費の高騰など全国的に再開発が行き詰るとテレビで見て、再開発を見直ししている自治体に横手市が入ってるんじゃないかという映像があった。横手市で再開発を見直ししているか事実があるか。	測量については、適正規模で予算計上して事業を提案し、議会に認められて実施することになるので、その点は大きすぎず小さすぎずという範囲だと思っている。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター
日 時	令和8年6月29日（月） 18：30～20：40
参加者数	36名

No.	項目	内容	市長の発言
10	水力発電	成瀬ダムの話があったが、横手市では水力発電等の事業者から相談や具体的な提案等を受けているか。	成瀬ダムのスケールで水力発電のイメージをしているとすれば、そういった類のものはないが、小水力発電の類の事業者で、適地を探しているという動きは市内でもあると思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	増田地区多目的研修センター 多目的ホール
日 時	令和8年6月30日（火） 18：30～20：20
参加者数	41名

No.	項目	内容	市長の発言
1	熊対策	最近では熊の不安が常に付きまとう。県には熊の専門の方がいるが、横手市にも非常勤でもいいので、出前授業などを行えるように勉強してくれる方がいれば、熊へのリスクや不安感を下げられると考えているので、ぜひ検討をお願いしたい。	昨今熊のニュースが多いが、まだ我々も熊についての知識が乏しい部分もある。熊の特性を学び、適正に対応することでリスクが軽減できると思うし、知識・経験が豊富な方の助けがあると当然、有益だと思う。実際に猟友会の方々は熊とも相対しているの、そういった方々から勉強させていただきながら、成長していきたいと思う。また、罠を増やしたり、猟友会の手当や保険等を充実させたり、過去より制度は向上させているし、今まで以上に県との連携も密になっているので、これが停滞しないように努力してまいりたい。
2	横手市プレミアム付商品券事業	プレミアム商品券事業について、どれくらいの額が発行されたのか。また、全部使われた場合はどれ程の消費喚起になるのか。 この事業はハガキの印刷代等の費用もかかるが、過去にあった各世帯に直接支給する事業と比較して、プレミアム商品券事業の方が意義があると考えた意図を伺いたい。 （再質問） この商品券を受け取った小売店が、換金のために1カ月半程期間をおかなければいけないと聞いた。市で決められた支払日が決まっていると思うが、半月に1回など早めることはできないか。	事務費を含め8億8千万円かかっている。本事業は5千円で1万円の商品券を2セット購入できるものであり、すべて購入いただいた場合、市に16億円が回ることになる。8億円が貯金されてしまうといつまで経っても経済が回らず、物価高騰に悩まされるということで、市にお金を回すという狙いで行っている。 直接有無を言わず振り込むというのが、一番事務費がかからない方法だが、頑なに拒む人もいる。なので、商品券を購入したいという本人の自由意志に従う方法としている。また電子にしてみると、そういった類が使えない人は手に入れることができなくなってしまうので、これが最高の策とは言えないが、この方法が無難ということで実施させていただいている。 ご商売をされている方々にとっては、即現金化できることが非常にありがたいということは共感できるが、対応する現場の限界があり、このルールに落ち着いたものと思っている。ご意見は胸に秘めたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	増田地区多目的研修センター 多目的ホール
日 時	令和8年6月30日（火） 18：30～20：20
参加者数	41名

No.	項目	内容	市長の発言
3	PR	増田のまんが美術館や重伝建の町並みを人を呼び込むためにどう活用していくのか、具体的な話を聞きたい。	まだ県外へ横手の魅力が露出しているかという、努力不足、工夫不足の部分があると思うので、今まで以上に県外の皆さんもターゲットだということを意識して努力していかなければいけないと思う。 まんが美術館については、期間ごとに企画が変わる方式で運営しており、それぞれの漫画でファン層が違うので、企画展にはかなり遠方の方も来ていただいている。まんが美術館がなければ来なかったであろう方が増田に来てくれているということを強みに、増田の町並みやりんごの収穫時期であれば園地を巡ってもらうなど、また来たいという努力をするべきと思う。 遠方から人を引き寄せるコンテンツは持っている、市だけ頑張るのもだめだし、住民だけというの限界があるので、市も住民も施設も発信の努力をしていくべきだと思う。
4	旧石田理吉家	旧石田理吉家をリノベーションする計画があったはずだが、いつの間にか聞こえてこなくなった。どうなっているのか、市長の方から担当に促していただきたい。	サウンディング調査ということで、民間企業の方々にリノベーションや投資に見合う運営という部分も含めて、提案はいただいているが、費用もかかるので簡単にというわけにはいかない。 構想は描けるが、何億もかけて、かけた額に見合うようなビジネス展開を実現してほしいという、地元で手を挙げる方はいないと思う。運営・運用して下さる人材がいれば、うまく人を引き寄せてくれると思うので、増田の魅力の中で育った若者で、自分が何とかするという方が出てきてくれれば、ぜひ応援したいと思う。
5	農家への補助	先日亀田地区に局地的に雹が降り、りんごに悪影響が出てしまっている。商品価値も落ち、収入も減っていくと思うので、農家に対し農薬の消毒代の経費などの手助けをお願いしたい。	降雹について、お見舞いを申し上げる。 厳しい言い方になるが、市としてもこういったことがあるので、共済に加入することをお願いしてきたところである。 現段階でこうすると明確な答えは出せないが、農協や県にも相談し、検討してまいりたいと思う。まずは、情報として受け止めさせていただく。
6	横手市プレミアム付商品券事業	私の仕事では県からも補助金があるが、月末締めで一週間でお金が入ってくる。横手市もそのように早くしていただければと思う。	（質問者の意見）

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	増田地区多目的研修センター 多目的ホール
日 時	令和8年6月30日（火） 18：30～20：20
参加者数	41名

No.	項目	内容	市長の発言
7	IRISOアリーナ横手	この施設を有効活用していただいて、早く元をとれるように考えていただきたい。雪国なので室内競技に力を入れるのもありだと思うが、そのあたりの考えも教えていただきたい。	横手市は雪国なので、屋内スポーツに力を入れることは、合理性、利便性があると思う。IRISOアリーナ横手についても、プロチームの拠点にもなっており、バレーボールやバスケットボール等でもプロまで志せる最低限の土台は設えた状況にあると思う。この施設ができたことで、屋内スポーツに真剣に携わって、夢を描いて頑張る子どもたちの、プロまでの道も、この地で描けつつある状況になったと感じている。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	大森地区交流センター 視聴覚室
日 時	令和8年7月3日（金） 18：30～20：00
参加者数	16名

No.	項目	内容	市長の発言
I	大森地域	以前、大森は福祉の町として、全県的にPRしたり、全国から視察もきたりしていたが、現在は人口も急激に減っている状況で、こういった状況も踏まえて、今後大森地域が向かう方向性について、市長の考えを伺いたい。	大森は、大森病院を拠点として、周辺エリア一帯が協力関係にありながら、地域包括ケアを体現している、福祉の重要なエリアとしてあり続けるようにしていきたいと思っている。地方の公立病院は軒並み大幅な赤字で経営芳しくない状況にはあるが、新しいスタイルでもって乗り越えようと、リモートや訪問診療を行っている。この地域をどのように医療、福祉として支えていくのか模索していかないと思うし、全国に大森はこうやっていると手本になる場所だとも思うので、何とか支えて行きたいと思っている。 また、あのエリア周辺はテニスコートやゴルフ場もある、スポーツのエリアであり、東北大会などはきていただけているということで、そういった大森の強みも活かしたまちづくりをしていかないといけないと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	Ao-na スタジオ「NEMATTEかま蔵」
日 時	令和8年7月4日（土） 10：30～12：15
参加者数	32名

No.	項目	内容	市長の発言
1	学校教育における性教育	横手市の学校教育における性教育のあり方を教えて欲しい。 包括的性教育を含めて性教育の部分は、議会でもあまり議論されないテーマだと思うので、これからそういったことの研究をされる考えがあるか伺いたい。	性教育については、教育委員会、南教育事務所、市教育委員会をはじめとする機関がリードして進めていくものである。教育委員会の方では、距離感や体の位置づけなど、適正に抽出しながら教育に取り入れているはずである。 議会でも本会議場で議論した記憶は私もない。
2	スクールカウンセラー	横手市のスクールカウンセラーや心理職の体制について、お聞かせいただきたい。実際、市で臨床心理士や公認心理士といった資格を持ってる方がどれくらいいるのか。 スーパービジョンの体制やケースカンファレンスといった取り組みを市や教育委員会でどれくらい取り組まれているか。 また、将来的にスクールカウンセラーを常勤化する考えはあるか。	市のスクールカウンセラーについては、非常勤ではあるが、しっかり学び、資格を持っている方が務めているので、この地域の特性もあったアドバイスをしてくださっていると思う。 傾向、特性、改善の適正なアドバイスなど、データを蓄積して、アプローチした結果、こういった成果がみられるのか、取り組みを積み上げているところなので、最短ルートの改善の糸口が段々見出せるようになっていけばいいなと思う。
3	秋田県立衛生看護学院	地域に根差して利益を還元していくための教育機関として、大学化すること、既存の大学の学部の一つにして横手キャンパスにすることも一つの考えと思う。大学になることで、市内の看護体制に関する実証研究や他学部と連携した学際研究などの展開の余地があると思うが、市で何か考えがあれば聞かせていただきたい。	大学にしてほしいということは、私も何十回も、私の立場の中でアプローチはしてきている。最初からダメと決めないで、私なりに動いてはきたが、やはりそう簡単にいかないものだと思っている。何かのチャンス時には、すぐ動けるわけなので、そうあればいいなという思いは抱き続けたいと思うし、そういったチャンスがあった際は、現実になるように試行錯誤していくべきものだと思っている。
4	シン十文字拠点構想 市民会館	十文字文化センターの取り壊しで十文字映画祭の開催場所がなくて困っている話を聞いた。これを十文字拠点構想でカバーするために、構想の中に市民会館を組み入れるのも考えの一つと思っている。 また、市民会館は十分なキャパシティの施設を作っていただき、現実的などころしっかり考えていただきながら、ホールの構想を検討していただきたい。	市民会館については、旧横手体育館の隣に建てるということで、合意形成を図った物であり、またゼロからとなると非常に大変である。 1,300人入る計画を立てているが、コンパクト化の方がいいという意見も出てくると思うので、ぜひ十分なキャパでという意見は出してもらいたい。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	Ao-na スタジオ「NEMATTEかま蔵」
日 時	令和8年7月4日（土） 10：30～12：15
参加者数	32名

No.	項目	内容	市長の発言
5	学校統合	増田高校であれば農業、清陵高校であれば工業など、このようなところに小学校、中学校のうちから触れていって、いろんな選択肢、いろんな仕事があることを一層、小中学生の内から学ぶ機会を作っていく考えはあるか。	キャリア教育について、地元定着という観点で高校を卒業して就職先をふるさとで探してというのは遅いと思うので、小学生、中学生のうちにこの地域における仕事を分かっておくというのは、非常に大事だと思っている。 特に中学生には、地元の企業を何社か選んでいただき見ていただいている。関心の有無に関わらず、視野を広げて、横手市がこういう商売で経済が回っているという現実をしってもらう意味でもこういった学びの機会は意識的に取り組んでいる。
6	宿泊施設	宿泊施設の誘致について、十文字地域で泊まる場所をどう確保していくのか、考えをお聞かせいただきたい。	横手の場合、春夏秋はどのホテル業が来ても黒字になるが、冬の赤字で相殺されてしまう実態があるので、観光、ビジネス、大会等ありとあらゆる手段を使って冬の時期に横手に人がこないといけない状況を作らないと、なかなかどの施設もきてくれない。今横手が冬ばかり宣伝しているのはそういった意図があり、冬場と夏場お客様の比率が解消されれば横手の経済のあり方は変わってくると思うので、何とか突破口を出したいと思う。
7	ホームページ	市のホームページが見づらい。 横手市は新着情報が時系列で並んでいるだけなので、自分に関係するかどうか見ていかないとけない。 ぜひ他市のホームページも参考にして、予算はかかるが、見直ししていただきたいと思う。	令和3年にホームページをリニューアルしたばかりなので、ドキッとしながら聞いていたが、改良ができるかどうか、メーカーの方に相談させていただきたいと思う。

令和８年度市政懇談会 記録

会 場	金沢地区交流センター 洋室Ⅰ
日 時	令和8年7月10日（金） 18：30～20：00
参加者数	40名

No.	項目	内容	市長の発言
1	特別交付税	特別交付税について、具体的にハード面やソフト面で要望する内容を聞かせてほしい。	除雪費はかなりいただいているし、川の管理や雪の扱いをどうするか、農業のいろんな災害など、涙ながらに訴えて、国の余力の範囲で交付いただいている。
2	金沢バイパス	金沢バイパスの進捗状況について聞きたい。	調査は今年度で終わると思うし、調査が終われば設計の第一歩に差し掛かるんだと思う。まずは調査が終わらないことには、図面も引けず、ボーリングをして土の中の状況も分からないと予算の総額が出せないなので、そういった所を正確に導き出すための調査をしているという段階である。
3	山形新幹線の延線	秋田道の四車線化や湯沢以南の道路整備は確実に進んでいるが、その他に山形新幹線を横手まで延線することが必須だと思う。この計画の状況を伺いたい。	これはまさに将来の横手をどう様変わりさせるかの、すごく大事な要素と思っているし、これが実現されただけでも全国からの投資案件は増えると思う。新幹線が通る場所の県が応分の負担を求められてしまうので、山形県が秋田県境まで負担を強いられる現実もあり、秋田県と繋がるメリットを抱いていただかないと厳しいと思う。なので、何とか秋田の恩恵を取り込みたいんだと思わせるくらい、秋田が頑張らないといけないし、意見には同感する。
4	PR	金沢城跡が国指定の史跡に認定されたが、これをもっとPRするために環境整備をしていただければ、金沢に来てくれる方が増えるのではないかと考える。	史跡的な価値は確実に格上げになり、国の支援も今までより引き込みやすくなるかと期待もしているので、それを引き寄せる努力もして、これまで以上に魅力向上に資するチャレンジは頑張りたいと思う。 また、13号線の整備を急いでもらうことで、史跡の価値の向上とインフラのバージョンアップでもって、この金沢の場所的な価値があがるはずなので、この大事な横手の自慢を内外のお客さんに関心をもっていただけるよう、より一層努力したいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	金沢地区交流センター 洋室I
日 時	令和8年7月10日（金） 18：30～20：00
参加者数	40名

No.	項目	内容	市長の発言
5	猟友会	環境省からの補助金について使い道を教えてほしい。 （再質問） 駆除体で活動している時の保険内容について、移動も自家用車なので、保険の内容についてははっきりして欲しい。 また、市で支給されるジャンバーについて、急に熊が出てきたときに引っかかる可能性もあるので、胸ポケットはいらない。 あと秋田県に公式の射撃場が一つもないので、できるだけ早く作ってほしい。	全体の申請を取りまとめてから支出をするため、即応で支払いができない仕組みになっており、タイムリーに支払いができていない部分については何とかご理解をいただくとともに、懸念の部分は何らかの知恵をもって改善できる部分は引き続き努力をしてまいりたいと思う。 保険について、今明確にこういうものだと答えることはできないが、心配なく活動できるような状況は整えたいと思う。 ジャンバーについては、相談が綿密でなかったかなと思うので、今後何をやるにしても現場で活躍する方々の意見を第一に捉えながら整えていきたいと思う。 射撃場については、そういったご意見の方もいるということは伺ったので、どれほど要求に答えられるかはここでは控えさせていただくが、ご意見はしっかり受け止めさせていただいた。
6	市民会館	ありきたりな市民会館でなく、他県の施設も参考にしながら、客席とステージが身近に感じ取れるようなものにしてほしい。	予算に限りがある中でできる限りのいいものは目指したいと思う。 ご意見いただいたようないろんな素晴らしいホールがあるので、そういったホールも勉強させていただきながら、市の器で真似できるものは参考にして、できるだけ多くの皆さんが満足していただけるようなホールを目指して頑張っていくと思う。
7	消防団	地域の消防団に所属しているが、第八分団の第四部のみ軽積載車が配備されていない。軽積載車の有無で決定的に災害発生時の出動時間に差があり、出動に機敏性が欠けている。また、林野火災警報等が発令された際には警戒出動と巡回出動要請があるが、軽積載車は貸し借りが出来ないのも、自分のところだけ出動できない状況にある。このようなことが団員の士気低下や新人団員の勧誘の障害にもなっているので、高価なものなのですぐにはとはいえないと思うが、配備する場所を街に集中させるだけでなく、工業地帯など適材適所で考えた上で配備していただきたい。	まずもって地域の安全安心のためにご尽力いただき、心から感謝申し上げます。 私も元団員でうちの部落も軽積載車がなかったので、人が集まるまで出動できないような実態も分かっている。 そういった要請、必要性を吟味しながら適宜配備を順番にしているが、全市は広いので、地域配分も考えながら行っている。まずは要望をしっかり受け止め、適宜順番を追いながら、最後精査をして検討させていただきたい。

令和８年度市政懇談会 記録

会 場	金沢地区交流センター 洋室Ⅰ
日 時	令和8年7月10日（金） 18：30～20：00
参加者数	40名

No.	項目	内容	市長の発言
8	市民会館	市民会館について、老朽化もしているので、財政に限りがある中で必ずしも大きくなくていいと思うが、魅力がないと人は来ないので、ぜひ早く実施していただきたいと思う。	遠い将来の戦略を考えても、私は市民会館を作るべきと考えている。金利も物価も上昇しているので、まさに早ければ早いほど安く済み、時間が経てば経つほど大きい金額を拠出しなければいけなくなるので、なんとか再出発に向けて頑張りたい。
9	誘致企業	第一工業団地の日発精密工業の前の国道に出る道路が終業時渋滞するので、従業員が国道に出ることができない状況である。そういった問題もあるので、第二工業団地だけでなく、第一工業団地にもご配慮いただけるとありがたい。	日発精密工業の前の道については、どうしても渋滞にならざるを得ない現実もあるので、だからこそ早くバイパスができればという思いもある。もちろん第一工業団地に目を向けていないということではなく、第一工業団地に入っていたいている企業があるから今、第二工業団地が埋まったとも思っている。秋田県の輸送機関連産業の7割りは横手で、まさにその原点は御所野周辺にあると思っているので、あの場所を見ないふりっていうのは絶対にないわけである。せっかくこれだけ地域に貢献していただいているのに、こんな状況だっていうのを本当に心を痛めているので、その部分もお汲み取りいただければと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	山内地区交流センター ホール
日 時	令和8年7月15日（水） 18：30～20：20
参加者数	49名

No.	項目	内容	市長の発言
1	共助組織	高齢化が進む中で除雪や雪下ろし問題を解決するため共助組織を立ち上げたが、実際の事業に移る際に、道具を購入するお金に困っている。県は過去に無条件で援助をしてくれていた。全額とは言わないので、市でも立ち上げから1～2年位は無条件で補助してくれるような制度を検討していただければありがたい。	共助組織の皆様においては、地域を想う心意気で立ち上げていただき、みんなで課題解決に取り組んでいただいている。日頃のご難儀に感謝するとともに、敬意を表したい。 今後立ち上がる組織のための配慮での意見と思う。出発資金があてにならないが故に、立ち上げにためらいがあっては、残念なことだと思うので、持ち帰って制度のあり方等を研究させていただきたいと思う。 高齢化の状況は緩和されず、今後も段々年齢は引き上がっていくと思うので、引き続き手を緩めず取り組んでまいりたいと思う。
2	森林組合	前に森林組合に薪を売ってくれと頼んだら組合員でなければ売れないと言われた。横手市は組合員のはずだが、市と森林組合はどういう関係にあるか。また、組合費をどれくらい払っているのか。	市は6,300万円程出資している組合員である。 当市は出資比率の48%を超える出資者ではあるが、他の森林組合と同じく1票分の意見しかない立場ではある。ただ、森林組合と連携をとりながら、森林行政全般にわたって尽力しているので、ご意見があったことはお伝えさせていただく。
3	学校統合	学校統合について、なぜ増田になったのか。 高校は県、中学校は市と切り替えて考える人はあまりいないと思うので、市民から見れば市長の意思で増田の方ばかりと思う人がいると思うので、説明いただきたい。	県教育委員会の方で、増田高校はまさに横手市の基幹産業である農業に関する、学科があるということで、今後農業を受け継ぐ若い人たちに育ってもらわないといけないということで、学校として樹園地や田んぼなどを持っており、これまで指導も続けてきた増田高校が、横手の実業を担う担い手を創出する意味でも適地だろうということでこの結論を出したということである。 場所について、私がどうこう言った部分はなく、注文をつけた部分としては、進学優先になってしまっている昨今で、地元で就職を希望する子ども達が育つ空間を作ってもらいたいということだけ、お伝えさせていただいた。
4	耕作放棄地	耕作放棄地について、行政サイドでも地域を巻き込んだプロジェクトチームを立ち上げるなど、何らかの対策を早々をお願いしたい。	耕作放棄地については、じっくり構えていられるような問題ではないと受け止めている。まさにプロジェクトチームのように、農林部のみで考えるステージを超えていると思うので、何ができるかすぐ答えが出るかは別として、常に念頭において農政に取り組んできた。より一層事の重大性を深く受け止めて、早急に動きたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	山内地区交流センター ホール
日 時	令和8年7月15日（水） 18：30～20：20
参加者数	49名

No.	項目	内容	市長の発言
5	鶴ヶ池荘	鶴ヶ池荘について、昨年の説明会以降、今後の方向性を説明する機会がないので本当にやる気があるのか。市長の考えと横手市全体での位置づけを説明していただきたい。	いろいろ検討はしており、検討をしているからこそ様々な課題が浮き彫りになっている状況である。課題解決の実現にあたって、有利な財源を確保しないで一般財源のみでとなると、10億円を超えてしまうような現実もあるので、今悩んでいる。建物も立派に見えるが、傷み具合や地下にある機械系統の更新など莫大な予算が想定される現状なので、苦しい状況の中で今後の方向性を真剣に練っているということをお伝えさせていただく。 いずれ鶴ヶ池荘について、全く考えていないということではなく、早く解決したいという気持ちの方が強いが生々しい苦しい事情があるということである。
6	固定資産税	共有林の代表になっているが、所有者が亡くなると県外に行った相続人などに支払いを求めなくてはいけないため、苦勞している。どこの地域でも悩んでいると思うので、市で振り分けて欲しいとお願いをしたが、いい返事が返ってこなかった。こういったことを市にお願いできるか。	苦しみは理解するが、金額の大小はともかく同じような状況を抱えている土地は沢山あり、単純に払える人に払ってもらう感じになっている。特に入会地については、全国的な問題になると思うが、今の法律の立て付け上、個人個人に権利があり、税と権利がセットになっているので、権利を放棄するにしても、地権者の了承が必要ということで日本が成り立ってしまっている。 私の権限で解決する問題ではないが、地上権など権利の問題は地方自治体よりさらに上の話なので、これは現実の課題として引き続き訴えていきたいと思う。
7	誘致企業	横手市の誘致企業はほとんどが製造業なので、もっとバリエーションを増やして若い人たちが就きたい職にも若干シフトしてもらいたい。	いろんな仕事のバリエーションがあることは、受け皿としては非常に大事だと思っている。今製造業を誘致しているのは、波及効果が大きい部分であり、機械の設備投資が常ることや、金融の類、設計の類などが生まれる。また、関連業種が広がりやすく、別産業も引っ張りやすくなると思っている。 IT系企業を呼んで募集しても、横手より秋田にってしまうということで、働く場に加えて余暇、働いていない時間をどう充実して暮らせるかも選ばれる対象になる。若者に普段の生活でも選ばれ、職業の場としても両方選ばれるような努力を今後取り組んでいきたいと思う。
8	林道整備	地上権、地域の財産ということで、山の方に財産があるが、山の中まで行く道路が壊れてしまっているため、場所も特定できず、財産を現金化できない現状にある。林道を整備することで、動物を寄せ付けないとか、財産を現金化して固定資産税を払えるとか、総合的に考えても様々な波及効果があると考えているので、市長のお考えも伺いたい。	林業を整備しないと機械も入れずせっかくの財産も現金化できないということで、いきなり全部というのは無理だが、力の限り頑張りたい。 森林に対する管理が不行き届きにならないようにという機運も出ているので、何とか財源のあても確保しながら、最低限のインフラ整備は整えていく努力はしてまいりたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	雄物川庁舎 会議室
日 時	令和8年7月16日（木） 18：30～20：15
参加者数	30名

No.	項目	内容	市長の発言
1	横手市の将来像	65歳以上のシニアと言われる方々が2040年には日本の総人口の35%まで増えると言われており、横手市も人口減少と少子高齢化に直面している。また、拡散する市街地を維持するために行政コストの削減が必要であり、国はこの対策の一つにコンパクトシティをうたっている。その中に免許返納制度があるが、横手のように地方だと、移動手段の確保が困難になり、高齢者の消費機会の削減や社会参加の低減に繋がってくと思う。 今横手ではデマンド交通や循環バスがあるが、これらはずっと残るものではないと思うので、将来的に市長はどういうモデルを抱えているのか教えていただきたい。	横手市は35%をとうに通り越して、今40%が高齢者という状況であるので、国家が心配している以上に深刻に受け止めないといけない現状である。だからこそ、デマンド交通や循環バスは続けていかなければいけないし、今まで以上に改良をしていくことが大事なと思う。 秋田、横手はおそらく日本一高齢者が就労している地帯であり、元気な方は活躍し続けていただいているし、自動車も運転できるんだと思う。また、幅広い世代が同じ空間で働いている現実を秋田は率先してできていると前向きに捉えたいと思うし、ITの時代に順応している若者と、師匠の背中を見て自ら考え、コツを見出して獲得してきた大先輩方では、全く育った環境が違うので、真逆の世代が同じ職場で一つの仕事をするというのは、秋田の強みだと思いたい。 新しい時代のテクノロジーも利用しながら、新しいデマンド制度も、バージョンアップしながら、また健康の状態を維持する努力も一層拍車をかけながら、一点の方法でもって、乗り越えるのは厳しいので、総合力でもって何とか今の時代を前向きに乗り越えていく思いである。
2	インバウンド	インバウンド需要が東北内で秋田県が最下位だった。かまくら等の文化を盛り上げて、経済効果も高めつつ横手市の発展に繋げていく、今後のビジョンをどのようにお考えなのか聞きたい。また、IRISOアリーナや赤坂総合公園を中心にスポーツなどで横手から秋田を盛り上げるビジョンもあってもいいと考える。	インバウンドについて、おっしゃる通り日本屈指の外国人の少なさだが、過去に比べると現在は来ていただいている。ただ、外国人でも日本人でもとにかく横手にきてほしいというのが現実であって、特に冬の宿泊客はガクッと減ってしまう。なので、横手は冬の魅力を強めに打ち出して、意図的に冬の横手の雪景色を宣伝している。大会でも観光でも、泊まっていただければお金が落ちる。今年度からIRISOアリーナ横手でもって、冬場もお客様を呼べる催しを実現できる現実が始まるので、何とかかまくら以外で冬の誘客の要素を作っていきたい。 経済効果の面でも、インバウンドで観光客の流入を意識しないと観光ビジネスが育たないので、ビジネスとして成り立つステージまでは行政も民間も含めて、みんなで盛り上げて、引き続き観光での取り組み、ビジネス、流入に拍車をかけていきたいと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	雄物川庁舎 会議室
日 時	令和8年7月16日（木） 18：30～20：15
参加者数	30名

No.	項目	内容	市長の発言
3	農業	横手市には多くの産物が名産としてあり、その活用もしているが、今後一層、横手市から首都圏に発信していくことが大切になってくると思う。農業が横手市の強みであるし、今後の生きる術の一つの方法ではないかと思う。	農作物については、県内屈指の生産量・生産額で、バリエーション也多岐にわたる地域である。しかし、都会にはPRしているつもりでも、売りにいけば横手ですかを作っていることが知られていないので、こんなに宣伝してもそう思われているのかという状況である。地道に農作物のファンに訴えていくことが大事だと思うし、いろいろなバリエーションがあるのも横手の特性と受け止めて、より一層発信を強めてまいりたい。
4	災害対策	3.11の大震災の悲惨な現状を踏まえた上で、今後どのように災害に強い横手市にしていくか。災害に対して、子どもから大人までしっかり対応できる町になっていければよいと考える。	横手市には秋田県最大の消防団組織があるが、数は減ってきてしまっているの、より一層消防の方々に関する支援や装備の充実を整えてまいりたいと思う。ハード面だと雄物川には無堤防地区が存在し、農業排水路の役割を石持川が果たしており、全国でも例のない予算の付け方で何とか改修をしている。災害が0%になることはどんな場面でもないが、格段に安全性が向上するということで工事を進めている。またその上流の雄物川の源流域では、2,600億円の総工費で成瀬ダムを建設中であり、令和9年度に完成する。 国交省や県との連絡のやり取りは10年20年前と比べると格段に多い状況なので、これまで以上に連携力、対応力、装備の充実、ハードの充実、組織力をもって、みんなで乗り越えていきたいと思う。
5	交通機関	最近ご高齢の方が買い物に行くのにタクシーを使っているところを目にする。免許返納した方や運転できない方の交通網について、乗合タクシーは見かけるがどういう必要があるか考えて、我々世代が避難地域活性の一躍を担えるような機関なども設置できればと考えている。	買い物にタクシーを使ってお金がかかってしまう、その通りであり、デマンドや乗合タクシーでしのいでもらっている現状である。場所によっては、共助組織を立ち上げ、交通弱者の支援を集落で担いながら乗り越えているところもある。こうした地域の助け合いのパワーは残っているので、こうした皆様の活躍を支えてまいりたいと思っている。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	大雄交流研修館 ふれあいホール
日 時	令和8年7月27日（月） 18：30～20：10
参加者数	37名

No.	項目	内容	市長の発言
1	防災無線	大雄でも熊が出た時など緊急の場合は防災無線で放送をしてほしいと思う。	防災無線は寿命がつかたらやめるということで、もう一度整備をするとすれば15億円程かかるので、どうしてもコスト的にラジオに分があるのでラジオで知らせている。熊が出た時に常にラジオを聞いているわけではないのはその通りだと思うが、そういう事情もあるということをご承知おきいただきたい。
2	町内放送	毎日農作業をしているがお昼になっても気付かない時がある。朝昼版で1日3回くらいチャイムを鳴らしてほしい。 （再質問） 今何百億円かけて建物を建てているが、果たして市民のみんながそれを利用できているのか。そういうことは市長考えてないのか。市民会館はお金がない中で、建設預金で建てるといって、本当にそれが市民にとっていいことなのか。 （再質問） 人がいないのにたくさん建物を作って果たして成り立っているのか。どのようにアピールして横手市を活性化させていくのか。たった一つのことをやってほしいと思っても、15億円がかかるからだめだと、他の地域はちゃんとやっているように見えてるのが大雄には何も見えない。市長はどう思っているのか。	チャイムや道路事情、福祉の充実などすべてにお金がかかる中で、どこに投資をしていくかを考えた時にチャイムの優先度が一番という方が市民のほとんどであれば、その検討あると思う。他にもいろいろ様々ご意見を聞いた中で横手も事業を進めているので、新たに無線でのお知らせというのは厳しいかなと思う。 事業をやる中で全員が全員納得というのは中々目指しづらいので、その中で優先度を決めたり、賛否をとったりして限りある予算の中で事業を進めて行くのが民主主義である。概ねその通り賛否をとって、認めていただいた事業が今進んでおり、全員が賛成のものばかりではないと思う。今の満足だけを考えると投資するのではなく、未来の人たちのための土台も作っていかないといけないと考えている。ついては、我々世代が次の世代に先人達がやってくれてよかったと思ってもらえるような礎を残していかないと誰もここに住む人がいなくなってしまうので、今も大事だが、未来も大事というのが私のスタイルである。 無線のような福祉的な物は我々の発生できる経済の範囲でしかできない。稼いで以上に福祉に手を付けると外貨を稼ぐとか、人をひきつける力がないと弱い部分を支える力が存在しなくなってしまう。 今、若い子達がどんどん出ていってしまう現状で、若者がここに住み続けしっかり稼げて、豊かにこの場所に家庭を築ける状態を優先しているので、これがないと福祉のサービス等を減退せざるを得なくなる。なので、ここはしっかり経済的に強い横手市を築かせていただきたい。言わんとすることは分かるが、今、巻き返すための努力をさせていただいているということである。
3	ゆとりおん	ゆとりおんの玄関の壁についてタイルが落ちそうになり、網を付けているが恰好が悪い。全部直せとは言わないが、業者に見積りをもらい、点検して何とか直して欲しい。	壁についても危ないからこそああいいう風になっているわけなので、危険防止の部分はやはりそれは検討しないといけないのかなと思う。

令和8年度市政懇談会 記録

会 場	大雄交流研修館 ふれあいホール
日 時	令和8年7月27日（月） 18：30～20：10
参加者数	37名

No.	項目	内容	市長の発言
4	道路整備	ドン・キホーテの前の道路について、土日に行くときすごいお客さんがいて曲がって出れない。古い体育館のところに市民会館が建てばもっと曲がれなくなる。時間差の信号や矢印付の信号を付けて欲しい。	古い体育館は市民会館の建設をスタートする際には解体するので、両方を使うということではない。 信号については、公安委員会の範疇だが、あの箇所は繁忙時間には混む現状にある。信号の要望については承ったので、たくさん要望している中の一つに含めることは可能である。公安委員会が優先度を算出して設置にいたるということなので、信号に関してはそういう事情があるということで、ご意見はしっかり受け取らせていただく。